



進路だより

第6号

2024年9月13日発行

宮城県東松島高等学校進路指導部

「A君の苦い就職試験の思い出」

Ⅲ部主任

私の親友A君。その彼からごく最近聞いた話をする。彼はこの話を今まで誰にも話したことがないという。実際のところ恥ずかしくて心の中に押し込んできたとのこと。

高校時代彼は父から、高校卒業後すぐに就職しろと言われていた。だが彼は密かに大学に行きたいと望んでいた。しかし親の意向にそむけず、高卒対象の公務員試験を受けざるをえない状況となった。その頃の彼の心境は、「試験に受かったら、本当に就職しなくてはならなくなる。どうしよう。」そう思いながら毎日過ごしたそうである。そのため試験の勉強も身が入らず、とうとう試験当日の朝になってしまった。

彼は受験日と受験番号が記された一枚のはがきを手に、試験会場に近い駅に降り立ち、そこから会場に向けて歩き出した。会場に向かう道は、通行人の中で高校生が自分だけで最初不安だったが、気にしても仕方が無いので、試験会場までそのまま進んで行った。

次第に会場が見え始め少し安心し始めた頃、急にその建物からチャイムが鳴り始めたという。時計を見ると現在9時。確か開始時間は9時16分だったはずなので、大丈夫と思いながら、受験日と受験開始時間が書かれたはがきを再度見たところ、なんと受験日が9月16日、開始時間が9時と書かれてあるではないか。何かの間違いと思い、再度見直したが、間違いは無かった。なんと彼は、日にちと開始時間を間違えてしまっていたのだ。それに気がついた瞬間、彼の記憶が飛んでしまい、この場から一刻も早く立ち去りたくなりそのまま来た駅に戻り、その日一日ゲームセンターでやけくそに遊びまくったという。

その後苦勞し一浪して大学に入った彼だが、あの時の自分の浅はかな失敗の記憶を今日まで誰にも言わず封印していたようなのである。

この体験を聞いて、①思いの入らない中途半端な就職活動は、失敗する恐れがあること。②この一度の失敗は、苦い思い出として後々までその人の記憶に残ってしまうものなのだなあと実感した次第だった。本校の受験生には、彼のような中途半端な気持ちで試験に臨むことなく、万全の準備で、自信を持って臨んでもらいたいなあと陰ながら思っているところである。



〈進路室より〉

●今年度本校へ赴任された先生より、進路決定に関して助言をいただきました。

今、やりたいことがすでに見つかっているという人はたいへん立派です。けれど、まだ決まっていないという人も（確かに早めの決定は色々な意味で安心ではありますが）、焦らず自分のペースを大事にして良いと思います。実は私自身が、とにかく環境への適応であるとか、あらゆる速度が人一倍遅い子どもでした。進路決定も例外ではなく。結局は、親から突きつけられた条件（「進学はしてほしいがとにかくお金をかけるな!」）により、自ずと絞られていったわけですが。腹を括るまでに時間がかかる、けれど腹を括ってからはなんとか集中できる。昔からの私の傾向です。きっと、そういうタイプの人間は少なくないことでしょう。ありきたりな助言ではありますが、譲れない条件や自分の意思を、じっくり納得のいくまで考えてみてください。

将来



●いよいよ就職試験が始まります

就職活動が本格的になり、求人票の閲覧、応募前職場見学や進学・就職対策講座への参加、履歴書の作成など、自分の進路達成に向けて真剣に取り組む生徒の姿が見られます。8月30日（金）には、卒業年次の生徒や先生方が集まり、激励会を行いました。9月6日（金）には、事務室前の進路決定先一覧を令和6年度用に張り替えました。16日（月）に就職試験解禁です。試験を控える皆さんは、面接練習や持ち物の確認など、しっかり準備しましょう。また、就職先がまだ決まっていない皆さん向けの就職面接会があります。生徒の皆さんは自己紹介書を作成し、参加企業と面接をします。面接ということで、服装などの身なりをきちんと整える必要があります。今後、情報を出していきますので、参加を希望する生徒の皆さんは情報集めに努めましょう。石巻会場では、10月17日に行います。



当面の進路に関する動き

9月16日（月）	就職試験解禁
9月17日（火）	特別編成授業（前期科目のみ）
9月18日（水）	後期開始
9月20日（金）	受講登録ガイダンス
10月4日（金）	成績発表、第2回進路希望調査
10月17日（木）	卒業予定者就職面接会（石巻会場）



編集後記 今年の夏も暑い日が続きました。おかげで、昨年以上に胃腸の調子が良くありません。先日ニュースで、夏バテならぬ「残暑バテ」という言葉を知りました。秋はおいしいものがたくさんありますが、胃腸と相談しながらになりそうです。皆さんも日々の健康管理に努めましょう。

